

兵庫楽農生活センターがある には、自然や史跡など魅力的なとこ ろがたくさんあります。

それは、広く皆さんに知られているようなものから、 身近でありながらあまり知られていないものまで。 さあ、新たな魅力を発見してみませんか。









## <兵庫楽農生活センター> 神戸市西区神出町小東野30-17 TEL:078-965-2651



### (お問い合わせ先)

兵庫県農政環境部農政企画局楽農生活室 〒650-8567神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL078-362-9198 FAX078-362-4458

## 申出とゆかりの深い呉錦堂氏

中国浙江省に生まれ、明治17年、長崎に渡航し、神戸で貿易商として <mark>成功した呉錦堂氏。た〈さんのお金を儲けたものの、すべて古里の農民</mark> や後輩の教育のために投げ出し、後に、楽農生活センターのあるこの神 出町小束野原野の開拓に力を注いだ。また、中国革命の先覚者孫文の 活動を支援した人物でもある。

明治の中頃、神戸市西区神出町小束野の一帯は松林を主体とした 原野が広がっていた。

1907年(明治40年)頃、呉錦堂氏が、明石郡神出村小束野(当時)の 土地を開墾し、近隣の村々からも入植者を集め、1917年(大正6年)に は小束野村が誕生した。

1926年(大正15年)、呉錦堂氏が逝去し、開拓地は人手に渡り、戦後 の農地改革で小作人に売り渡された。

1961年(昭和36年)、兵庫県が県立農業試験場経営実験農場を整 備。その後、1986年(昭和61年)、加西市へ移転。

そして、2006年(平成18年)、県民誰もが「農」の大切さを学び農作業 の体験や実践できる拠点施設として、「兵庫楽農生活センター」が整 備された。 施設内 の農産物直売所楽農市場「きらめき神出」が設 置されている場所は、呉錦堂氏の屋敷があったとされており、同氏の 足跡を記念し、同氏の別荘(神戸市垂水区舞子)に隣接して建っていた 移情閣(舞子の八角堂)を模した建物となってる。

参考図書:「試験研究の歩み」(兵庫県農業総合センター 編)

「神出むかし物語」(藤井昭三 著) 外



写真 呉錦堂氏 参考資料 孫文記念館所蔵 「續刻杜白両湖全書」



農産物直売所 楽農市場「きらめき神出

1957年(昭和32年)5月、集落の中

心部にある旧公会堂の敷地に小束 野の人たちによって建てられた。 碑の裏面に記された碑文には、小

束野の今日の繁栄の基礎を作った

呉錦堂氏に感謝し称えるともに、彼

の功績を子々孫々に伝えるため、宮

ケ谷池を呉錦堂池と改称したことが

記されている。現在も秋に、感謝祭

が営まれている。

## <呉錦堂氏を称える碑>

## 呉錦堂顕彰碑



呉里豊穣碑

小束野地区のほ場整備が完工し たことを記念し、2005年(平成17年) 3月に小束野土地改良区によって建



てられた。 碑には、井戸敏三兵庫県知事の 揮毫による「呉里豊穣」という言葉が 刻まれており、小束野の人たちの呉 錦堂氏への深い感謝と豊かな稔り への望みを現している。記念碑の裏 には「呉錦堂翁の拓きし小束野の里 に豊かな稔りあり」と記されている。

## 呉錦堂池改修記念碑



呉錦堂池の改修工事が完工したこ とを記念して、1997年(平成9年)3月 に小束野水利組合によって建てられ

碑の裏面に記された碑文には、呉 錦堂氏の業績と感謝の言葉が記さ れるとともに、先人達への感謝の言 葉が刻まれている。

# 地域の農業を支える淡山政

神戸市北区淡河町木津(淡河頭首工)から神戸市西区神出町(練部 屋分水)までの延長26.3kmの淡河川(おうごがわ)疏水と神戸市北区山 田町(取入堰)から淡河川疏水幹線の宮ケ谷池までの延長10.8kmの山 田川疏水の二つの疏水の河川の頭文字をとって「淡山疏水」と言われ ている。現在約2,500haの農地をかんがいしている。

平成18年に「疏水百選」(農林水産省)に選定。

いなみ野台地は、高台で地形的に常時水不足のため水稲が出来ず、 綿花で生計を立てていたが、明治の「地租改正」により重税に苦しむこと となった。

遠〈離れた淡河川・山田川から用水を引き入れ、水稲作付を可能とする ことにより難局を乗り越えるため「水の一滴は血の一滴」との思いを胸に 成し遂げた一大事業であり、この地域の近代化に大きく貢献した。

まず、淡河川疏水事業が1888年(明治21年)に着工、1891年(明治24年) に竣工した。

【総事業費84,000円 水路延長26.3km 隧道(トンネル) 28カ所】

しかし、なお水不足が解消されなかったため山田川疏水事業を1911年 (明治44年)に着工、1915年(大正4年)に竣工した。

【総事業費856,400円 水路延長10.8km 隧道(トンネル) 19カ所】 これらの事業は一部の国費負担を除き、農民が工事費を負担して実施 しており、工事費を返済したのは、1951年(昭和26年)である。



分水所(老ノ口)



水路(小束野)

## 練部屋(ねりべや)分水所

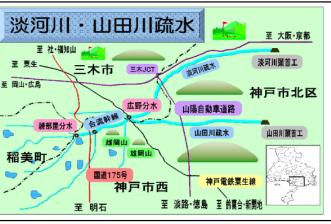


淡河川疏水の幹線を5方向に 分水する施設として1891年(明治 24年)に竣工。竣工当初はレンガ を方形に積み上げた形で、1893 ~ 1894年(明治26~27年)の災 害の際に六角形に改修された。 現在の施設は、1959年(昭和34 年) に直径10mの鉄筋コンク

リートで、より正確な分水が出来

る、円筒分水工に改修された。

隧道(古神)



淡河川·山田川(淡山)疏水水路図

「楽農生活」とは、農業体験や食体験を通じて食と農に親しむ新しい <mark>ライフスタイル。 兵庫楽農生活センターをはじめとして、 周辺には、 農業</mark> 体験、食体験など楽農生活を満喫できる都市農村交流施設、市民農 園、直売所、観光農園、地元野菜を活用するレストラン等が多数。

## 神出ファームビレッジ



都市と農村の交流を通じて地域活性 を目指している。貸し農園や直売所が 整備され、ユニバーサルデザインが取 り入れられた先進的な施設で、会議室 や地域食材を用いたレストランも完備、 さくら祭り、農業体験、しめ縄づくり・も ちつき体験など年間を通じて沢山の交 流イベントが実施されている。

## めっこうファーム



東集落の新しい里づくりの中心的な 施設として建設された茅葺きの休憩 所は、地区住民がプロと協力し、茅の 刈り取りから輸送、屋根葺きまで、住 民ボランティアで出来上がった。都市 と農村の交流を図る施設の誕生ととも に年間を通じて沢山の交流イベントが 実施され、地域交流も盛んに行われ ている

## グランメール



有機農業に取り組む女性グループ 「ヘルシーママSUN」が運営する有機 農業体験型宿泊施設。1年間を通じた 栽培体験や味噌づくり、田んぼ運動 会(農りんピック)、料理講習会など、 楽しいイベントも多数。就農希望者へ の実践指導なども行っている。レスト ランでは、有機野菜たっぷりのランチ も好評。

神々が生まれ各地へ散ったことから、名付けられた「神出」。ここに <mark>は、神出神社、雌岡山、金棒池など神出地域の基礎となる神話・伝説</mark> にまつわる地域資源がいっぱい。

## 雌岡山(めっこうさん)



東の雄岡山と姿かたちがそっくり で、遠くから眺めると子牛の角のよう に見えたことから男牛(おご)、女牛 (めご)と呼ばれていた。古くから周 辺住民の振興を集め、大切にされ、 山全体が風致地区となっている。山 頂にある神出神社は809年(大同4 年)に建立され大己貴命(オオナム チノミコト)を祀っている。神戸らしい 展望10選にも選ばれている。

山頂から南(海側)を望む

## 金棒池



棒を雄岡山と雌岡山に突き刺し、担 ぎ挙げようとしたとき金棒が折れ、落 ちたところがくぼんでできたといわれ る金棒池。池の東端に「弁慶の足 跡」と呼ばれる島が二つある。島は5 世紀頃の古墳といわれ「姫古墳」の 名が付いている。

怪力無双の弁慶が、持っていた金

## 雄岡山と金棒池

# ため池(手中池)